

## インドネシア活動報告⑤

株式会社マジオネット

JICA 青年海外協力隊 2016 年度 2 次隊

山口 麗子

### 【直近 2 ヶ月間(6/14~8/14)の活動】

・JICA 職員ロンボク訪問(6/20、8/7~8/9) ・一時帰国(7/9~7/28) ・学校巡回(8/8~)

#### ◎JICA 職員ロンボク訪問

6 月 20 日、JICA ジャカルタ事務所とマカッサル事務所の職員が配属先を訪問してこられた。当任地には 1 時間ほどの滞在であったが、近況報告と活動計画について配属先職員を交えて議論を交わした。結果として、停滞していた学校巡回のスケジュールの問題を解決する一歩にはなった。また、8 月 7 日~9 日には JICA 東京の新入職員が研修の一環として配属先へ訪問してこられた。終日活動を共にし、ありのままの活動風景を見て頂いた。活動を行う上での助言や作業面でのサポートを頂き、活動への意欲を増すことができた。

#### ◎一時帰国

7 月 9 日~7 月 28 日まで約 8 ヶ月振りとなる日本への一時帰国を行った。帰国期間中は、経営会議内にて活動の中間報告を行わせて頂いたり、法定講習の受講、ビックサイトでのエキスポのブースの見学などもさせて頂いた。また、この機会にと家族、親戚、多くの友人、知人、社員の元を訪れ、近況報告を行うことができた。活動が停滞していた中での一時帰国であったので、多くの人に会えたことは今後の大きな励みとなった。

#### ◎学校巡回

8 月 8 日、様々な問題を残しつつも、なんとか本格的に学校巡回を再開することができた。スケジュール上では、月に 8 校の訪問、この内半分の学校は定期巡回校とし、継続的に環境教育を行う学校としている。また、近々 ADIWIYATA と言われる全国で環境校を決定するコンテストが行われるとのことで、定期巡回校の内、県環境局の推薦校として「ゲルン第 3 中学校」と「ナルマダ第 4 中学校」が挙げられている。この 2 校は集中的に巡回の予定が入っている。これまでは、単発のプレゼンを都度行う形であったが、今月以降は回数を経るごとに環境への知識と意識が高まるような継続型のプレゼンを用意し、実施している。



ゲルン第 3 中学校にて。研修で来ていた JICA 東京の職員にも参加してもらった。

## 【日常生活について～レバラン&ハジ～】

### ◎レバランとは

断食明けを祝う日。また、1週間ほどの休暇もあり、帰省や旅行する人が多い。

### ◎ハジとは

イスラム教徒に義務付けられている5行の一つ。メッカ巡礼のこと。

6月24日、1か月の断食を終え、任地ロンボクはお祝いムード一色であった。皆、この日の為に新調した服を纏い、親戚一同の挨拶周りを行っていた。私もホームステイ先の家族に同行して挨拶周りを行ったが、初日は近所の親戚、2日目は他県の親戚、3日目は行政関係者と様々な場所を訪問した。お年玉のような制度もあり、日本の正月に似ていた。

8月に入り、任地では至る所でメッカ巡礼を行う人を送り出すための式が行われている。話を聞いてみると、年に1回、ロンボクからメッカ巡礼を行いにいける期間があるそうで、巡礼に行く人は全員同じ日に同じ飛行機に乗って聖地であるサウジアラビアへ行くそうだ。丁度、ホームステイ先の向かいの家の親戚がメッカ巡礼に行くとのことで、様子を見ていた。式の準備は2週間ほど前から始まり、家の周りを飾り付け、正面には巡礼へ行く人を祝う垂れ幕を掛けていた。式2日前からは親戚一同が集まって振る舞う料理の準備を终日行い、当日を迎えた。メインは夜で、長めのお祈りの後、男性のみで歌のようなものを唱えて送り出していた。



## 【交通面について～チドモ～】

今回は、チドモについて報告する。チドモとは、ロンボクを走る馬車のことである。インドネシア国内ではバイクがかなり普及しているが、人力車や馬車もまだ存在している。ただ、大都市では既に観光客向けの乗り物となっており、一般人が乗ることはあまりない。その点、ロンボクではバイクを持たない人や、バイクに積みきれないほどの荷物がある場合の交通手段として一般人がチドモを利用している。特に、私が住んでいる場所は田舎町で、バスすらも通っていない為、まだまだ需要はある。長距離だと断られてしまうが、ある程度の距離までであれば一律30円で乗れる。(写真、動画)

